

「完璧」解釈するための問い四十題

みなさんは、傍線注釈により現代語訳をすることになれました。最近配る「予習プリント」は空欄ばかりです。それだけ自分で訳せるようになつてきたと言うことです（ヒントがなくとも訳せるようにならなければならぬこと）。今日からは一歩進んで、「現代語訳できて当たり前、さらに突つこんで内容を解釈しよう！」をスローガンに、「解釈するための問〇題」というプリントを配ります。みんなで力を合わせて全問正解しましょう。その授業で出された問を全問正解できたら、みんなに○○○一〇〇プレゼント！ 傍線注釈は今まで通りやつて下さい。ノート提出で確認して行きます。

問一、「璧」つて何？

問二、「璧を完うす」の意味は？

問三、登場人物は誰？
実際に出てくる人……
名前だけの人……

問四、①誰がいつ何を得た？

問五、秦の昭王と趙の惠文王の力関係は？

問六、②全てを傍線注釈

問七、②「之」とは？

問八、②つまり、「之」の価値＝？

問九、③「欲不与畏秦強」傍線注釈

問十、③何を与える？

問十一、③「欲与恐見欺」傍線注釈

問十二、③秦が強いからどうするということ？

問十三、③「恐見欺」具体的に誰が何をすることが？

問十四、④「蘭相如」つてどつちの味方？

問十五、④「願奉璧往」現代語訳

問十六、④誰がどこに「往」こうとしているの？

問十七、⑤傍線注釈

問十八、⑤どうして「不入」の可能性があるの？

問十九、⑤「臣」誰のことを指す？

問二十、⑤どこに「帰」る？

問二十一、⑥誰がどこに「至」る？

問二十二、⑥「秦王無意償城」現代語訳

問二十三、⑥璧は秦王に渡つた？ 渡つていない？ どこから分かる？

問二十四、⑦「相如」＝？

問二十五、⑦誰が誰から何を取つた？

「P」はパンダにあるよつていうこと
□は覚えるべき句法だよつていうこと

- (1) 請 : P 読み・句法・訳
(2) 城 : 訳
(3) 易 : P 訳

- (4) 欲 : P 訳

- (5) 見 : P 読み・句法・訳

- (6) 願 : P 読み・句法・訳

- (7) 不 : P 読み・句法・訳

- (8) 入 : 読み

- (9) 請 : P 読み・句法・訳

- (10) 臣 : 訳

- (11) 償 : 辞書を引こう！

- (12) 紿 : 辞書を引こう！

問二十六、⑧誰がどうして激怒している？

問二十七、⑨「柱下」どい？

問二十八、⑨「臣頭与璧俱碎」傍線注釈しなさい。

問二十九、⑨「臣頭与璧俱碎」つまりどうしたこと？

問三十、⑩「遣従者懷璧間行先帰」傍線注釈しなさい。

問三十一、⑩「従者」つて誰の従者？

問三十二、⑩主語は誰？

問三十三、⑩「璧」を持つてゐるのは誰？

問三十四、⑩「身」誰のいふ？

問三十五、⑩「身待命於秦」現代語訳

問三十六、⑩誰の「命」？

問三十七、⑪「賢」誰のいふを「賢」とひいてる？

問三十八、⑪「之」何を指す？

問三十九、⑪傍線注釈しなさい。

問四十、秦の昭王が蘭相如を帰したのはなぜか？

【参考資料】

楚の国の和氏（かし）という人が、楚山で玉＝宝石の原石を見つけました。「とてもすばらしい玉になるのは間違いない」と思つた和氏は、さつそく、厲王（れいおう）に献上しました。ところがなぜか「どこにでもある石だ」と鑑定されてしまい、だました罰として左足を斬られてしまいました。

玉の原石を理解してもらえたかった和氏ですが、厲王が亡くなつたあと、次の武王に献上することにしました。ところが、同じように「たいした価値のない原石だ」と鑑定されてしまい、だました罪として、今度は右足を切断されました。

またもや玉の原石のすばらしさを理解してもらえたかった和氏ですが、その次の文王の天下になつても、その原石を大切に抱えていました。血の涙を流し、泣き続けていたある日、和氏の噂を聞きつけた文王は彼を呼びよせて、「体の具合が悪いのか」と、泣いているわけを尋ねました。「私は足を斬られたことを悲しんでいるのですが、玉なん。これほどの宝玉をありふれた石だと決めつけられ、うそつきにされてしまつたことがあまりにも悲しくて、こうして泣き続けているのです」と答えました。そこで文王が、玉造という職人にその原石を磨かせてみると、なんともすばらしい世界一の宝玉が誕生しました。この玉は、代々の王に受け継がれる宝となり、後に秦の昭王が15の都と交換しようと申し出たこともあつたので、「連城の璧」とも呼ばれています。

(13) 遣 … P 読み・句法・訳

(14) 於秦 … 秦の国で
(15) 命 … 「いのち」じゃないよ。辞書を引こう！

(16) 「帰ラシム」：句法